



令和3年度

桐ヶ丘中だより

北区立桐ヶ丘中学校
第2号
令和3年5月10日

「学校の教育目標とは」

校長 綿貫 正人

新年度がスタートして1か月余りがたち、新入生も中学校の生活リズムに慣れてきたところですが、運動部は夏の大会が近づき、練習の制限がある中でそれぞれが熱心に取り組んでいます。緊急事態宣言が続く中、修学旅行の延期や運動会を昨年と同様に縮小せざるを得ないといった状況ですが、今年は今のところ臨時休業をせずにできることを進めていきます。

さて4月から今日まで、朝礼で3回にわたって桐ヶ丘中学校の教育目標に掲げられている3つの言葉について話をしてきました。校舎の玄関や各教室に掲げられている3つの言葉「自立・協力・創造」は、先生方や生徒がこれらの言葉を常に意識したりそれに基づいた行動をとったりすることで育てたい生徒像に迫るというもので、本校のすべての教育活動の基礎になっています。そして、この3つの言葉の目指すところは、「人間性豊かで、創造的精神に富み、社会の変化に主体的に対応できる国民を育成する」と示されています。また、今年度から新しい学習指導要領（学校における指導内容が示されたもの）が全面実施されました。これは、学習の進め方や評価の観点が変わるというものです。授業展開が、「主体的・対話的で深い学び」といわれる形になり、各教科の評価の観点も今までの4観点（国語のみ5観点）から全教科が3つの観点にまとめられます。詳細については改めて説明しますが、これからの変化が激しく予測できない社会で生き抜く力を身に付けさせることをねらいとしています。平成時代を振り返ってみてもICTの急速な発達や、グローバル化の進展といった昭和時代には考えられなかったような変化が起きています。令和時代の社会も同様に、どのように変わっていくのか予測することは難しいといえます。その中でこれからの人生100年時代を生きていく生徒にとって、どんな状況になっても自ら考え（思考力）、自ら判断し（判断力）、それを他に伝える力（表現力）を身に付けることが求められています。

今現在、まさしくわずか1年半前には全く予測できなかった渦中に巻き込まれているわけですが、これからの社会の一翼を担っていく生徒たちに、本校の教育目標を胸にどんな状況になっても対応できる力を身に付けてくれることを切に願っています。

離任式

4月16日（金）に離任式がありました。2・3年生のみ体育館に集合し、1年生は各教室から離任式に参加しました。在校生がメッセージを読み、離任された先生方からお話をいただきました。約2週間ぶりなのに、懐かしい感じがするとおっしゃっていました。



転出された先生方

転出された先生方のお名前と異動先が書かれていました。

タブレットを配付

北区から貸与されたタブレット、充電器、タッチペン、ケースを配付しました。配付時にタブレットと使い方や注意事項等を確認し、Google アカウントの登録、Google Classroom のログイン、クラスの設定などを行いました（1年生は明日から家庭へ持ち帰り）。このタブレットは生徒が自己管理をします。正しい使い方を身に付け、学習教材として効果的な活用をしましょう。



保護者の皆様、各学年でタブレットを配付した際に保護者の方にご確認いただく承諾書をお配りしています。内容と配付した物品をご確認いただき、担任までご提出ください。

5月の主な行事予定

12日（水）	腎臓検診	20日（木）	2年生 歯科検診
14日（金）	1年生 自転車シミュレーター講習	24日（月）～	運動会練習始 水筒・タオル持参
15日（土）	土曜授業（1年生のみ引き取り訓練）	27日（木）	3年生 全国・学力調査
17日（月）～	教育実習始		1年生 歯科検診
19日（水）	生徒総会	28日（金）	英検